

こえに だして よみましょう。

飴だま^{あめ}
②

新美南吉^{にいみなんきち}

黒い^{くろ}ひげをはやして、つよそうな

さむらいが、こっくりこっくりす

るので、子ども^こたちはおかしくて、

ふふふと笑^{わら}いました。

お母^{かあ}さんは口^{くち}に指^{ゆび}をあてて、

「だまっておいで。」

といいました。さむらいがおこってはたいへんだからです。

子ども^こたちはだまりました。

しばらくするとひとりの子^こどもが、

「かあちゃん、飴^{あめ}だまちょうだい。」

と手^てをさしだしました。

